

シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
国語表現	2	2	選択	普通科	

1. 科目概要および目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することに依って社会生活を充実させる態度を育てる。

2. 具体的目標

- ① 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
- ② 自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
- ③ 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
- ④ 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
- ⑤ 表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につける。

3. 使用教科書

『国語表現 改訂版』 教育出版 国表306

4. 授業の展開と形態

希望による少人数のクラス編成。言語による表現活動が中心となり、創作的な活動や調査・研究的な内容も含むため、図書室やパソコンも利用する。評価は、提出課題に加えて授業中の発言や発表、授業態度、課題やその取り組み方、自己評価、生徒間の相互批評などを元に行われる。定期テストは、必要に応じて行い、小テストを行う場合もある。

5. 学習方法

- ・自分の考えを明確にして、スピーチ、発表、討論などを行う。
- ・観察したことや調査したことを記録したり、まとめて報告したりする。
- ・相手や目的に応じて、案内、紹介、連絡などのための話をしたり、文章を書いたりする。
- ・身近にある様々な表現を集めて、その効果などについて考えたり、生徒の表現活動について自己評価や相互評価を行ったりする。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際、考慮すべき事項

- ① 自分から主体的に物事を考え、創意工夫し、積極的に表現活動に取り組む意欲があること。
- ② 日常生活のすべてが学習の場といえ、意識的に言語生活の営み（音声表現・活字表現）に関心を払うようにする。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項（3年生）

- ① 生徒の進路の希望に応じて、入試科目としての小論文や課題作文、面接試験等の学習を取り入れる場合もある。
- ② 実社会や現実生活で欠かすことのできない、自己表現能力やコミュニケーション能力の向上を図る。

様式2

月	章の目標	時	章	主な学習活動	日
4月	1 コミュニケーションのために（1時間） ○アイスブレイクを行い、コミュニケーションのための土台を作る。	1	ウォームアップ3 他己紹介をしよう	○ペアで交互にインタビューを行い、他己紹介をする。	／
	2 文章表現の基礎（9時間） ○文字の表記からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。	2	ステップ2 語句の用法と文のくぎり方	○適切な文を書くために、語句の使い方や文のくぎり方を正しく理解し、わかりやすい文章の書き表し方を学ぶ。	／
		2	ステップ3 文章のリフォーム——推敲	○書き上げた文章を推敲するときの観点を具体的に学び、典型的な悪文について理解を深めることで、他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。	／
5月		3	ステップ1 意見を論理的に述べる	○小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し、具体的なトレーニングを通して意見と根拠を短文で書く。 ○与えられた論題から適切な問いを見つける方法を学ぶ。	／
		2	ステップ3 文章の「型」——構成の方法	○文章構成のバリエーションを学ぶとともに、特に小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解する。	／
	3 小論文Ⅰ（11時間） ○文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成する。 ○小論文のテーマ一覧を参照することで自己の論文テーマの幅を広げる。	2	ステップ4 構成ノート	○文章執筆のための設計図としての「構成ノート」を理解し、実際に作成してみることで小論文執筆の準備の仕方を学ぶ。	／
		3	ステップ5 テーマ型小論文の実際	○テーマ型小論文の特徴を知り、「問い」と「答え」と「根拠」に着目しながら実際に執筆する。	／
		1	★ズームアップ2 つなぐ言葉	○適切な接続表現や指示表現を用いる課題を行う。	／
		3	◎小論文テーマ例一覧	○小論文のテーマ例一覧から任意の論題を選び、実際に小論文を書く。	／
6月		2	ステップ3 スピーチの方法	○スピーチのための事前の準備について理解し、本番の体験をとおして、その方法を学ぶ。	／
	5 人とつながる言葉（2時間） ○ことばの性質やことばと人間とのかわりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。	2	ステップ2 待遇表現——敬語によるコミュニケーション	○敬語が人間関係の調整や場の状況にどのようにはたらいているか考え、自己表現としての敬語の使用方法を理解する。	／
	6 面接——社会との接点（6時間） ○自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をとおして、社会への参加能力を育てる。	2	ステップ1 自分を知る	○自己分析をとおして自分を理解し、自己アピールを作成する。	／
		2	ステップ2 相手を知る——志望先の情報を集める	○志望先の情報を集め、履歴書や志願書を作成できる。	／
7月		2	ステップ3 模擬面接をする	○実際の面接の場面を想定し、伝わる話し方について理解して、面接における心構えと技術を習得する。 ○模擬面接をとおして、面接の基本事項を学び、実践力を身につける。	／
		1	★ズームアップ4 ジョハリの窓	○「ジョハリの窓」による自己分析方法を学び、面接準備の一助とする。	／

9月	7 言葉遊びと創作 (5時間) ○意味の伝達という言葉の「中心」的機能だけでなく、遊び心のある言葉の世界を体験させる。このことによって言葉のセンスを磨くと同時に、言語文化の歴史的な連なり、社会的な広がり学ぶ。	1	ステップ1 言葉遊び	○さまざまなことば遊びの体験をとおして、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。	/
		1	ステップ1 言葉遊び	○様々なことば遊びの体験をとおして、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。	/
		2	ステップ4 俳句・短歌を作る	○俳句・短歌の作り方のコツを学ぶ。 ○俳句・短歌がどのような構造をしているかを知る。	/
		2	ステップ5 詩を作る	○詩の作り方のコツを学ぶ。 ○詩がどのような構造をしているかを知る。	/
10月	9 プレゼンテーションの方法 (5時間) ○これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術をプレゼンテーションで用いる。言語表現と非言語表現、音声表現と非音声表現の違いを知って、プレゼンテーションでこれらの表現要素を効果的に用いることができる。 ○情報の視覚化の方法を知り、それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。	1	ステップ1 電子メール	○電子メールのマナーを理解し、適切な形式と内容で電子メール文書を作成する。	/
		1	ステップ1 プレゼンテーションの技術	○総合的な音声言語表現であるプレゼンテーションの表現要素、評価の観点、情報の視覚化の方法を学ぶ。	/
		2	ステップ2 プレゼンテーションの実際	○プレゼンテーションの実際例をもとに、プレゼンテーションの構成と流れを理解し、説得力のある話し方の技術を学ぶ。	/
		1	ステップ3 スライドを使ったプレゼンテーション	○情報の視覚化の方法として、プレゼンテーション・ソフトによるスライドの作成法を理解し、それを使用して実際に行う。	/
11月	10 小論文Ⅱ (12時間) ○3章で学んだテーマ型小論文に加え、課題文型小論文とデータ型小論文の二つのタイプの小論文の書き方を身につけるとともに、論文執筆の際のルールに習熟する。○課題文を的確に理解し、自らの意見を明確にして小論文にまとめる。○データを分析して、問題を提起し、小論文を展開させることができる。	2	ステップ1 要約の方法	○文章を要約する際の基本的な観点を理解し、実際に要約文を書くトレーニングをとおして、的確な読解力と適切な表現力を身につける。	/
		1	ステップ2 課題文から問いを見つける	○課題文を読んでから書く小論文の特徴を知り、設問の要求を的確に読み分けることや、課題文の要約、引用の仕方などに習熟する。	/
		2	ステップ3 課題文型小論文の実際	○課題文提示型の小論文を実際に執筆する。また、課題文型もテーマ型と同様、明確な意見提示と、十分な根拠によって展開されることを学ぶ。	/
		2	ステップ4 データを読む	○グラフや表などのデータの読み方を理解し、小論文を構成する要素を取り出し、実際の執筆に役立てる。	/
		4	ステップ5 データ型小論文の実際	○データから読み取れた内容が実際の小論文ではどのように展開されているかを理解する。	/
		1	ステップ6 引用と情報源の明示	○引用のルールについて理解し、注や参考文献の表記などの論文執筆時に必要な事項について習熟する。	/
12月	11 話し合いの方法 (4時間) ○目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。 ○ディバートの基本的な流れについて理解し、実際に取り組む。	2	ステップ2 ディバートの方法	○ディバートの流れとルールを理解し、ディバートを実践する。	/
		2	ステップ3 意思決定・合意形成のための会議	○家族会議の記録を題材にして、意思決定や合意形成の方法やルールについて理解する。	/
		1	★ズームアップ8 多数決と全員一致	○多数決という意思決定の原理について確認する。 ○ステップ3の補足的資料として活用する。	/

1 月	13 物語を作る（7時間） ○それぞれの手法によって、物語の作成を楽しむ。	3	ステップ1 二次創作を楽しむ	○もともになる物語作品について理解を深め、パロディーなどの二次創作に取り組む。	/
		2	ステップ2 絵から物語を作る	○絵カードを並べ替えながら想像し、ストーリーを作成する。	/
		2	ステップ3 テーマから物語を作る	○抽象語によるメインテーマを起点にして具体化させていくピラミッドワークを用いて、物語を作成する。	/
2 月	14 メディア・リテラシー（1時間） ○身の回りのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。	1	ステップ2 広告というメディアを読む	○広告におけるAIDMAの法則について理解し、実際の広告を分析して、表現上の工夫を確認する。	/
					/
	☆ツールボックス（4時間） ○「敬語」に関する基礎知識を理解し、自分の表現に生かす。	1	敬語	○まちがえやすい敬語例や現代敬語の課題について理解する。	/
3 月	○発想法に関する基礎知識を理解し、意見や作品の創造に生かす。	1	アイデアの出し方	○発想をひろげたり、まとめたりする方法について理解する。	/
	○多様な文章を読み、事故の発送や表現の工夫に役立てる。	1	目的に合わせた話し合いの形態	○話し合いのルールや形態が、目的に応じてさまざまにあることを理解する。	/
		1	☆文章サンプル集8	○各種の文章例をよく読み、それぞれの特徴や表現上のおもしろさについて理解する。○各文章は、各章のステップと関連させ、模範例文や分析素材として適宜活用する。その歳は、文章の文体や表現技法などに着目する。	/